

# 「リアス・アーク美術館開館 30 周年記念展シンポジウム」

●参加無料 ※定員は 75 名先着順！

リアス・アーク美術館 30 周年記念展  
開館 30 周年記念展企画ワークショッププロデュース

デザインってなんだ？  
グラフィックデザインとひと・まち・くらし



会場：リアス・アーク美術館

3F ハイビジョンギャラリー

〜過去・現在・未来をつなぐ

関係構築のために〜

「強く優しく美しく美しいまちをデザインする」

2024 年 9 月 29 日(日) 10:10~17:00 開催!!

●趣旨：

2024 年 10 月 25 日、リアス・アーク美術館は開館 30 周年を迎える。同館では既に 9 月 18 日より開館 30 周年記念展として「デザインってなんだ？」展をオープンし、もろもろの関連イベントも開催している。

開館以来、地域密着型の美術館として活動してきた当館では、「30 周年記念展は地域住民の意向をストレートに反映した展覧会とすること」を企画の主題とした。その実現のため、2022 年より地域住民の代表として圏域内の高校生を中心とするメンバーを招聘、「リアス・アーク美術館 30 周年記念展企画ワークショップ」を継続開催し、美術館学芸員と共同で同展を企画立案、展覧会の開催に至った。

同展は「グラフィックデザインとひと・まち・くらし」との副題が表している通り、内容的にはグラフィックデザインを中心とする展覧会であるが、「ひと・まち・くらしとデザインの深い関係性」を論じ、思考をめぐらす場として【「強く優しく美しいまちをデザインする」〜過去・現在・未来をつなぐ関係構築のために〜】とのテーマで本シンポジウムを開催するものである。

●内容：

午前午後の二部構成とし、午前は地域生活をデザインすることに精通し、多くの実践経験を有する専門家として建築家、アートディレクター、民俗学者の 3 名を講師にお招きし、それぞれの立場から講話をいただく。

午後は前述の専門家 3 名に地元で活躍する若手デザイナー 2 名を加え、「強く優しく美しいまちをデザインすることについて」をテーマとするパネルディスカッションを行う。